

医療安全

参加形式: 必須

指標名: 褥瘡発生率

定義の要約:

分子) d2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡発生患者数

分母) 同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数(人日)

指標の定義・算出方法:

1. 調査月間における在院患者および退院患者を対象とする。
2. 1のうち、同日入退院の患者を除外する。
3. 2のうち、入院時刻から24時間以内にDESIGN-R®(2008年改訂版褥瘡経過評価用)1) Depth(深さ)のd1, d2, D3, D4, D5, DUのいずれかの記録がある患者を除外する。
4. 3のうち、同一入院期間中の調査月間以前に院内新規褥瘡があった患者を除外する。
5. 4の入院延べ日数を分母とする。
6. 4のうち、院内新規褥瘡があった患者数を分子とする。

式	単位
$(\text{分子} \div \text{分母}) \times 100$	% (パーセント)

日本褥瘡学会

DESIGN-R®(2008年改訂版褥瘡経過評価用)1) Depth(深さ)

Depth(深さ)	内容
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織を超える損傷
D5	関節腔, 体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

その他:

褥瘡の原因は問わない

用語定義:

同日入退院: 入院日および退院日が同一のもの

院内新規褥瘡:入院時刻から24時間以内にDESIGN-R分類のd1, d2, D3, D4, D5, DUのいずれかの記録がない、かつ入院後24時間以上経過ののちDESIGN-R分類のd2, D3, D4, D5, DUのいずれかの記録があるもののうち初回のもの

意義:

褥瘡予防対策は、提供されるべき医療の重要な項目であり、栄養管理、ケアの質評価にかかわる。また患者のQOLの低下により、在院日数の長期化や医療費の増大につながる。

留意点:

参考資料:

American Nurses Credentialing Center: Magnet Recognition Program, 2005

The Australian Council on Healthcare Standards : ACHS Australasian Clinical Indicator Report: 2001 - 2008
Determining the Potential to Improve Quality of Care: 10th Edition.

The Joint Commission; The Implementation Guide for the NQF Endorsed Nursing-Sensitive Care Measure Set 2009, version 2.0.

European Pressure Ulcer Advisory Panel and National Pressure Ulcer Advisory Panel; Pressure Ulcer Prevention: Quick Reference Guide.

日本褥瘡学会 DESIGN-R® (2008年改訂版褥瘡経過評価用)